

おかげさまで当金庫は2024年1月15日に
創立100周年を迎えます。

100th
Anniversary

このまちが、すべて。
このまちに、すべて。

ANNUAL REPORT 2022

皿倉山（北九州市八幡東区）の夜景
令和4年3月に北九州市は「日本新三大夜景都市」のランキング1位を獲得しました。



あなたと共感、ハーモニー・バンク
福岡ひびき信用金庫

当金庫の概要

(令和4年3月31日現在)

設立	大正13年1月
本店所在地	北九州市八幡東区尾倉2-8-1
出資金	34億77百万円
会員数	73,404人
役員数	567人
店舗数	44店舗（代理店1店舗を含む）
営業区域	福岡県一円 山口県下関市 大分県中津市



経営理念

1. 地域社会の繁栄ある未来を希い、地域とともに歩みます。（地域繁栄、金庫共栄）
2. 健全経営と独自性発揮で、お取引先の要請に応えます。（健全経営、独自性発揮）
3. 知性を磨き、創意と工夫をもって活力ある信用金庫を築きます。（知性と創意で活力金庫）

基本方針

1. 地域の人々の幸福と繁栄を希い、地域の豊かな未来づくりを使命とします。
2. 健全経営をモットーに、お客様のニーズに素早く対応し信頼される金庫にします。
3. 日々、豊かな人間性の向上に努め、活力ある職場と職員の豊かな生活の実現に努めます。



CONTENTS

ごあいさつ	1	商品等のご案内・手数料一覧	18
業績トピックス	2	店舗のご案内	23
地域社会とひびしん	4	リスク管理の体制	25
沿革	5	法令等遵守（コンプライアンス）の体制	27
役員・組織図	6	金融ADR制度への対応・主要な事業の種類	28
ひびしんインフォメーション	7	信金中央金庫のご紹介	29
中小企業の経営支援に関する取組み	10	開示項目一覧・当金庫のディスクロージャー誌 （資料編）の閲覧に係るご案内	31
地域活性化に対する取組み	14		
総代会等に関する事項	16		

ごあいさつ



理事長
井 倉 眞

会 長
野 村 廣 美

平素より福岡ひびき信用金庫をお引立て頂き、心より厚く御礼申し上げます。
本年も、ディスクロージャー誌「ANNUAL REPORT 2022業務のご案内」を作成致しました。弊金庫の経営方針や業務の内容、業績などをご紹介致しておりますので、ご高覧頂き、弊金庫へのご理解を一層深めて頂ければ幸甚に存じます。

令和3年度の日本経済は、前年度より続く停滞からの脱却を命題に様々な施策が講じられましたが、2度の緊急事態宣言などから、経済活動は大きなダメージを受けました。また、57年ぶりに開催された東京オリンピック・パラリンピックにつきましては、国民に大きな感動と勇気を与えましたが、前例のない延期やほとんどの競技で無観客での開催を余儀なくされ、当初予定されていたほどの経済効果は得ることができず、長期化するコロナ禍でのサプライチェーンの混乱などを背景に、経済の停滞が鮮明となりました。

このような経済環境を背景に、令和3年度は中期経営計画「Change Challenge Create Be Prepared Something New ～新たな時代の礎を～」を策定し、お客様の課題に向き合い、地域の活性化につながる施策に積極的に取り組んで参りました。

その結果、令和3年度の弊金庫の業績は経常収益15,583百万円（対前期比15.3%減）、経常費用13,059百万円（対前期比17.6%減）、経常利益2,524百万円（対前期比0.9%減）、当期純利益1,841百万円（対前期比37.2%増）となりました。

また、期末の自己資本比率は国内基準の4%を大きく上回る11.36%、不良債権比率は対前期比で0.13%改善し、2.6%となりました。

これも偏に、会員の皆様方の平素よりのご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。

今後も、健全経営、経営基盤の一層の強化、地域社会の繁栄のため役職員一同専心して努めてまいります。今後ともなお一層のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和4年6月29日

会 長 野 村 廣 美

理事長 井 倉 眞

業績トピックス

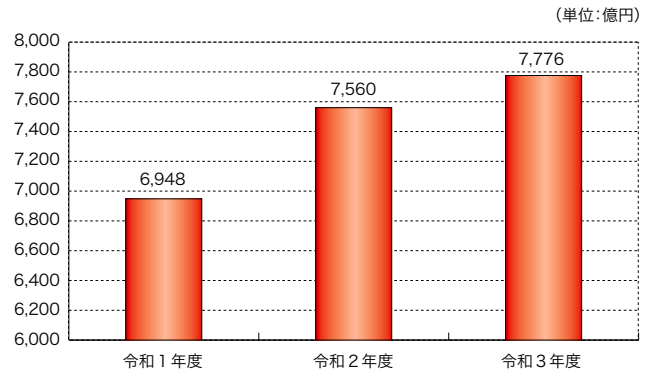
預金積金の推移

令和3年度は、夏期キャンペーンとして、「医療従事者応援定期預金」を、また冬期には懸賞金付定期預金「マネーヒット」を販売し、夏期は59億円、冬期は66億円の合計125億円を獲得致しました。結果、定期預金残高は前期比44億円の増加となりました。

また、要求性預金残高は新型コロナウイルス感染症対策資金や各種助成金等の歩留まり分の影響もあり、前期比168億円増加しました。

この結果、令和3年度の預金残高は、前期比215億円増加し7,776億円となりました。

預金積金残高 **7,776億円**



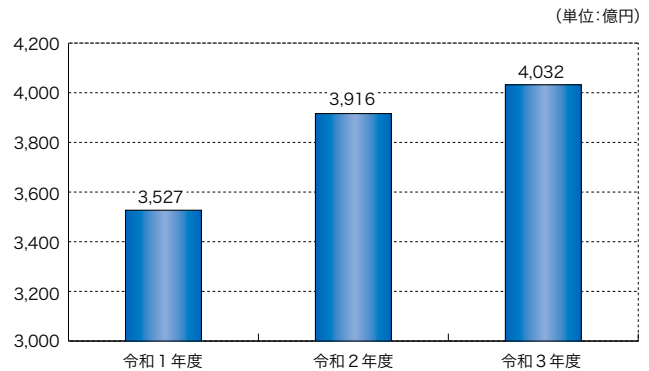
貸出金の推移

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策融資を取引先545先に対し105億円実行しました。貸出先数では前期比321先増加し、証書貸付の残高が前期比90億円の増加となりました。

事業性融資は新規の取引先の拡大などにより101億円増加。また、個人向け融資につきましては、カードローンが3億円減少しましたが、消費者ローンで7億円、住宅ローンで10億円増加したため、前期比14億円の増加となりました。

その結果、貸出金残高は、前期比115億円増加の4,032億円となりました。

貸出金残高 **4,032億円**



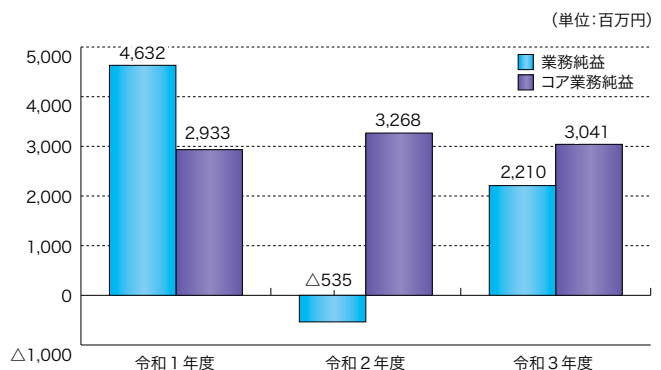
業務純益*1/コア業務純益*2の推移

貸出金利息収入は増加した反面、有価証券利息配当金の減少により資金運用収益は減少したものの国債等債券売却損等の減少により、令和3年度の業務純益は22億1千万円となりました。

また、業務純益から一般貸倒引当金繰入額や国債等債券関係損益を除いたコア業務純益は、前期比2億2千6百万円減少し、30億4千1百万円となりました。

業務純益 **22億10百万円**

コア業務純益 **30億41百万円**



*1 業務純益・・・貸出金や有価証券等の受入利息や手数料などの収入から、預金等の支払利息や支払手数料、経費を差し引いたものです。

*2 コア業務純益・・・業務純益から、一般貸倒引当金および国債等債券関係損益を除いたものです。

業績トピックス

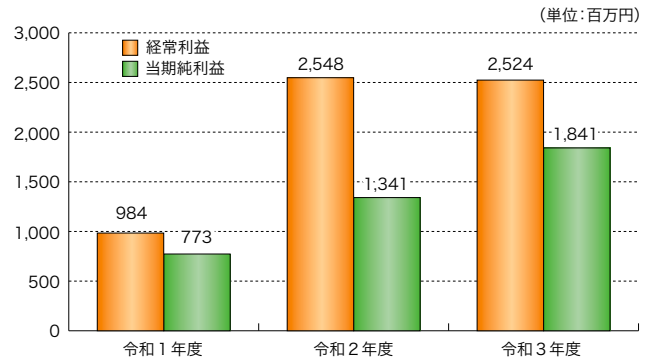
経常利益/当期純利益の推移

個別貸倒引当金繰入額や金銭の信託運用損等の臨時費用が前期に比べて増加した為、令和3年度の経常利益は前期比2千4百万円減少し、25億2千4百万円となりました。

当期純利益は特別損失が前期に比べ減少し、結果として前期比4億9千9百万円増加し18億4千1百万円となりました。

経常利益 **25億24百万円**

当期純利益 **18億41百万円**



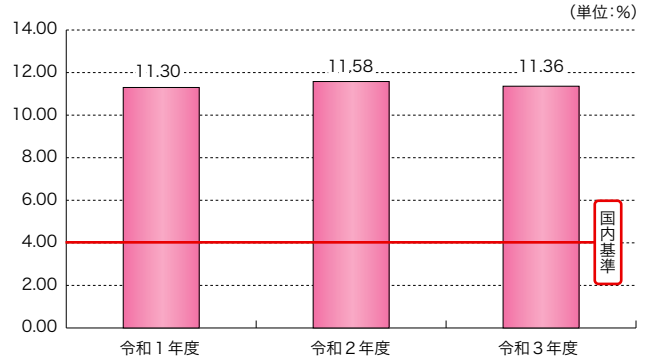
単体自己資本比率

当金庫の令和3年度の単体自己資本比率は、11.36%となりました。

国内基準(4%)を大幅に上回る高い水準を維持しております。

※平成25年度末より、自己資本比率規制に関する金融庁告示第19号の一部改正に伴い、パーゼルIII基準により自己資本比率を算出しております。

自己資本比率 **11.36%**



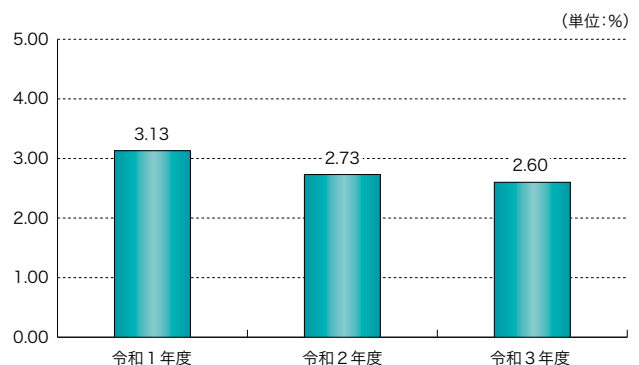
不良債権比率

令和3年度の金融再生法に基づく不良債権額は、前期比1億8千9百万円減少し105億5千2百万円となりました。

この結果、当金庫の不良債権比率は対前期比で0.13%改善し、2.60%となりました。

当金庫は、法令等に基づき厳格な償却・引当を行っております。引き続き、健全な資産の維持に努めてまいります。

不良債権比率 **2.60%**



地域社会とひびしん

当金庫は、福岡県一円と山口県下関市、大分県中津市を事業区域として、地元の中小企業や住民の皆さまが会員となっており、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元の皆さまからお預りした大切な資金（預金積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民の皆さまとの強いネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、企業としての社会的責任（CSR）を自覚し、文化・環境・教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



■有価証券 2,463億円

お預かりしている資金の一部は、有価証券等で運用しております。運用にあたっては、公共債等を中心に安全な運用に努めております。

令和4年3月31日現在

沿革

大正13年	1月	有限責任信用組合八幡庶民金庫を設立
昭和18年	10月	有限責任信用組合八幡庶民金庫と有限責任八幡信用組合が合併し「有限責任八幡庶民信用組合」が誕生
昭和25年	4月	中小企業等協同組合法の施行に伴い信用協同組合に改組
昭和26年	10月	信用金庫法制定に伴い改組改称し「八幡市信用金庫」として発足
昭和38年	6月	北九州市発足により「北九州八幡信用金庫」と改称
昭和48年	1月	「八信同友会」（現・ひびしん同友会）発足
昭和60年	10月	「はっしん経営大学」（現・福岡ひびき経営大学）第1期講座開講
平成 2年	4月	「八信ニューリーダー会」（現・ひびしんニューリーダー会）発足
平成 6年	1月	「はっしん経営者賞」（現・福岡ひびき経営者賞）創設
平成13年	4月	「イングスクラブ」設立
	11月	北九州八幡信用金庫と若松信用金庫が合併し「福岡ひびき信用金庫」が誕生（理事長 古川育史 就任）
平成14年	9月	福岡ひびき信用金庫と直方信用金庫との二金庫間で合併基本協定書調印
	11月	福岡ひびき信用金庫・新北九州信用金庫・門司信用金庫・築上信用金庫・直方信用金庫の5金庫間で、合併基本協定書調印
平成15年	6月	高須支店新装オープン
	10月	福岡ひびき信用金庫・新北九州信用金庫・門司信用金庫・築上信用金庫・直方信用金庫が合併し、新生「福岡ひびき信用金庫」が誕生
平成16年	11月	荒生田支店新装オープン
平成17年	1月	小倉支店移転オープン
	2月	室町支店他2店舗を統合
	10月	三六支店他3店舗を統合
平成18年	1月	浜町支店他2店舗を統合
	4月	大里支店移転オープン
	6月	役員改選により 会長 古川育史 理事長 谷石喜一 就任
	10月	近衛橋支店他5店舗を統合
平成19年	2月	福岡支店新規開設
	10月	昭和町支店他2店舗を統合
平成20年	4月	門司港支店新装オープン
	5月	豊前支店新装オープン
	10月	本城東支店他1店舗を統合
平成21年	2月	「ひびしんビジネスフェア」初開催
	10月	総代改選し150名体制へ（新総代53名誕生）
		ひびしんニューリーダー会発足20周年記念大会開催
		木町支店他2店舗を統合
	12月	行橋支店新装オープン
平成22年	2月	「ひびしん女性創業塾」初年度開講
平成23年	2月	曾根支店新装オープン
	12月	預・貸金総和1兆円達成
平成24年	5月	町上津役支店新装オープン
	6月	理事長 野村廣美 就任
	10月	守恒出張所新規開設
	11月	ひびしん同友会発足40周年記念式典開催
平成25年	6月	古川育史会長退任
	10月	5金庫合併10周年記念「飛鳥IIクルーズ」実施
		当金庫及び大分みらい信金、西中国信金による「大規模災害発生時の相互支援に関する覚書」を締結
平成26年	2月	創立90周年・5金庫合併10周年記念式典開催
		葛原湯川支店を統合
	4月	大蔵支店を代理店へ移行
	5月	福岡ひびき経営者賞20周年記念式典開催
	6月	千早支店新規開設
	12月	折尾支店新装オープン
平成27年	3月	東二島支店新装オープン
	6月	宮丸支店を統合
	9月	宇野支店を統合
平成28年	9月	ベイサイドプラザ若松出張所閉店
平成30年	1月	椎田支店・築城支店を統合し、築上町支店新装オープン
	5月	当金庫と磐田信用金庫の2金庫間で業務連携協定を締結
	8月	守恒出張所閉店
平成31年	4月	九州管内16金庫「飛鳥IIしんきんリレークルーズ」開催
令和 1年	7月	黒原支店を移転し、城野支店として新装オープン
	9月	前田支店を統合
	10月	中央町支店、小石支店、原町支店をサテライト店舗へ移行
		大蔵代理店、中央町支店、小石支店、天籟寺支店、原町支店の5店舗において「昼休み」時間を導入
令和 2年	6月	役員改選により 会長 野村廣美 理事長 井倉眞 就任
令和 3年	2月	則松支店、中原支店、頓野支店をサテライト店舗へ移行し、「昼休み」時間を導入
	5月	中間支店新装オープン
	6月	若宮支店において「昼休み」時間を導入
	10月	原町支店を統合
	11月	二島支店新装オープン
令和 4年	3月	北方支店を移転し、守恒支店として新装オープン
	5月	18店舗において、「昼休み」時間を導入



令和3年11月15日二島支店新装オープン

役員

会長 …………… 野村 廣美
 理事長 …………… 井倉 眞
 専務理事 …………… 御手洗 範雄
 専務理事 …………… 唐生 昌平
 常務理事 …………… 黒木 清輝
 常務理事 …………… 一江 哲哉
 常勤理事 …………… 田中 正浩
 常勤理事 …………… 吉田 昌弘
 常勤理事 …………… 江崎 鶴彦
 常勤理事 …………… 森 重隆

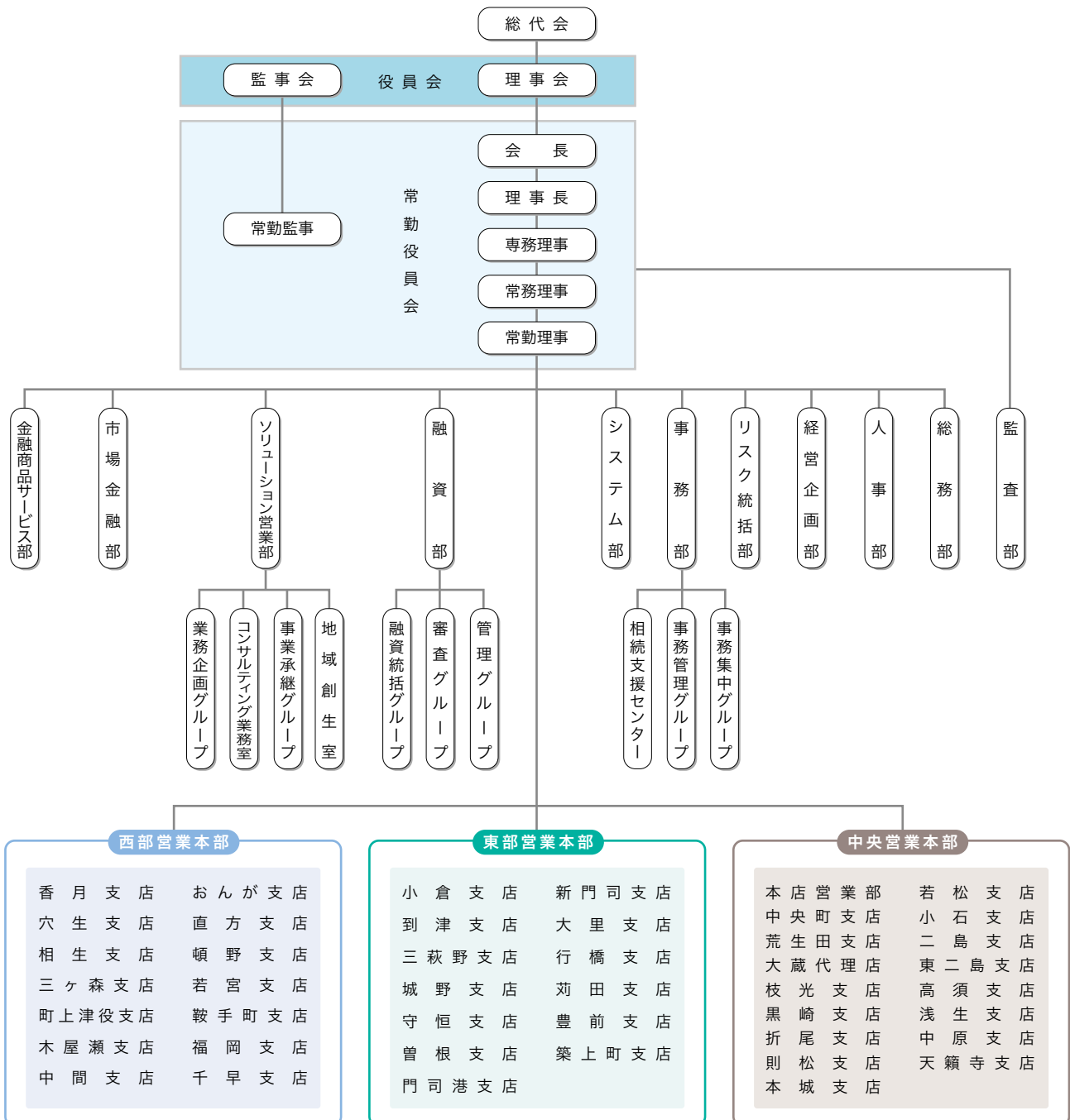
非常勤理事 …………… 垣迫 裕俊 (注1)
 非常勤理事 …………… 井上 龍子 (注1)

常勤監事 …………… 石井 康雄
 非常勤監事 …………… 鈴木 雅子 (注2)
 非常勤監事 …………… 東 能利生 (注2)

(注1) 理事 垣迫 裕俊、井上 龍子は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。

(注2) 監事 鈴木 雅子、東 能利生は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

組織図



※第71回通常総代会（令和4年6月28日）終了後の役員及び組織図を掲載しております。

ひびしんインフォメーション

二島支店 新装オープン

令和3年11月15日(月) 二島支店を新装オープンしました!
吹き抜けの待合ロビーがあり、とても開放感のある明るい店舗となっております。

二島地区の皆さまをはじめ、地域の発展に貢献できるよう職員一同精一杯尽力してまいります。

職員一同、皆様のご来店を心よりお待ちしております。



守恒支店(旧北方支店) 移転オープン

令和4年3月14日(月) 北方支店を移転し、守恒支店として移転オープンしました。

心機一転、地域の皆さまのための信用金庫として、より良いサービスの提供に努めて参りますので、今後も末永くご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



新型コロナウイルスへの支援に関する取組みについて

「福岡県新型コロナウイルス医療従事者応援金」への寄付金贈呈

医療従事者に対し、感謝と応援の気持ちを表すため、店頭表示金利の2倍である0.004%を乗じた金額を寄付する令和3年度夏期キャンペーン定期「ひびしん医療従事者応援定期」を発売し、募集総額500億円を完売しました。令和3年10月28日（木）に「福岡県新型コロナウイルス医療従事者応援金」への寄付を行いました。



「Withコロナの経営課題解決セミナー」の開催

生活衛生関係営業（飲食業、宿泊業、理・美容業など）を営む方向けに、コロナ禍での売上確保及び収益改善等、お店づくりと顧客づくりに関するセミナーを開催しました。



迅速な資金繰り支援

引き続き、お取引先への資金繰り支援のため、迅速な資金供給に努めております。様々なご相談に幅広く対応するため、事業性融資を取り扱う当金庫本支店に専用の相談窓口を設置しております。



北九州の台所「旦過市場」に対する支援

令和4年4月に大規模火災に見舞われた、北九州市の台所「旦過市場」の復興支援を目的として、支援金の贈呈を行いました。

永年、市民はもちろん、県内外からも愛されている旦過市場が早期に平常を取り戻すことを願っております。



創立100周年事業委員会及び各委員会の立ち上げ

大正13年1月に設立した当金庫は、令和6年1月に創立100周年を迎えます。創立100周年という大きな節目に向けて、4つの委員会を立ち上げ、金庫全体で企画立案に取り組んでいます。

記念すべき100周年に向けて各委員会で議論を進めています。

周年式典 実行委員会

- 経営理念策定
- 記念式典実施

周年誌 作成委員会

- 周年誌作成
- 記念PR誌作成

周年祝賀会 実行委員会

- 庫内祝賀会実施
- 記念事業（内部）

周年事業 実行委員会

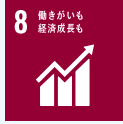
- 商品企画
- 記念事業（外部）
- PR事業

ひびしんのSDGsに対する取組み

福岡ひびき信用金庫「SDGs宣言」

福岡ひびき信用金庫の「SDGs」への取組みについて

1 中小企業の健全な発展



- 優秀なシニア人材とのマッチング支援（新現役交流会）
- 新商品の開発支援（大企業開放特許活用による知財マッチング）
- 企業課題解決支援（M&A、事業承継）
- 販路拡大支援（しんぎん合同商談会、よい仕事おこしネットワーク、みんなの試作広場など）
- 新規創業支援（ひびしん女性創業塾）
- 異業種交流支援（ひびしん同友会）
- 若手経営者の資質向上支援（ひびしんニューリーダー会）
- 経営者の知識向上支援（福岡ひびき経営大学、各種セミナー）
- 光る経営者の発掘（福岡ひびき経営者賞）
- 地域企業と地域の学生とのマッチング支援（「ひびしん」地元企業就職応援事業、KIUパートナーズ）
- 学生の視点やライター等による企業発信コンテンツの作成、コンテンツの魅力向上及び情報発信（SCBふるさと応援団）
- 北九州市と民間団体との連携による伴走型支援の仕組化（環境省「地域におけるESG金融促進事業」への採択）

2 豊かな国民生活の実現



- 行政と連携し、地域の健康増進支援（北九州市民をがんから守るプロジェクト）
- 環境に負荷をかけない店舗作り、ペーパーレスの推進など環境に配慮（粗品袋を環境負荷の少ない袋へ変更、庫内コミュニケーションツールのDX化）
- 地域の環境美化活動（北九州市道路サポーター）
- 子育て応援商品の企画販売（子宝住宅ローン、教育ローンなど）
- お客様セミナーの開催（相続・遺言・SDGs・事業承継など）

3 地域社会繁栄への奉仕



- 地域企業の社会貢献支援（CSR私募債「輝く未来」の取り扱い）
- スポーツ活動、文化活動支援（ひびしんカップ少年野球大会、ひびしん野球教室、ひびしんカップソフトテニス大会、ひびしん俳句大賞、黒崎ひびしんホールネーミングライツ）
- 地域情報の発信（ひびしんだより、ひびしんぐるめぐりマップ）
- 地域のイベントに積極的に参加（門司みなと祭、若松みなと祭り、わっしょい百万夏祭りなど）
- 地域に貢献する人材の育成（北九州ゆめみらいワーク、産業見学ツアー、大学での寄附講座、北九州キャリア教育研究会）
- 年齢・性別に関係なく活躍できる企業風土作り（女性支店長、マネーコンサルジュ、マイスター）
- デジタルチャネルの拡大（店頭窓口のタブレット化、ひびしんアプリの機能強化）

SDGsへの取組みの一環として、地域の清掃活動への参加



令和3年10月8日（金）「北九州のまちを美しく!プロジェクト With 北九州 SDGsマンス」への参画により、本店のある八幡駅周辺の清掃活動に本部職員が参加しました。



令和3年10月10日（日）遠賀川河川敷で一斉に行われたロータリークラブの奉仕清掃活動に、直方支店・頓野支店の職員が参加しました。



令和3年11月21日（日）宮若市で開催された「令和3年度宮若市環境クリーン作戦」に宮若支店の職員が参加しました。清掃は会場を3か所に分け、当庫職員は力丸ダム周辺の清掃を担当しました。



中小企業の経営支援に関する取組み

① 中小企業の経営支援に関する取組み方針

当金庫では地域に密着した金融機関としての強みを生かし、中小企業の実態を把握、企業の経営課題解決に対する主体的な取組みに対し積極的に支援を行います。また、平成28年9月に金融庁が公表した「金融仲介機能のベンチマーク」をこれらの取組みを客観的に評価する重要な指標と位置付け、その数値を開示し、地域のお客様にご理解いただけるように努めてまいります。支援に当たっては、必要に応じて外部専門家・外部支援機関等と連携し企業の実態に合った支援を適切に行うように取組んでいます。

なお、以下の表で「金融仲介機能のベンチマーク」に該当するものは **ベンチマーク** と表示しております。

② 中小企業の経営支援に関する態勢整備・取組みの状況

■ 全取引先数と地域の取引先数の推移、及び、地域企業数との比較(先数単体ベース) **ベンチマーク**

(単位:先)

	令和3年3月期				令和4年3月期			
	地元(福岡県)		地元外(福岡県外)		地元(福岡県)		地元外(福岡県外)	
	北九州市	北九州市以外	大分県・山口県	その他	北九州市	北九州市以外	大分県・山口県	その他
全取引先数	9,070				9,303			
地域別の取引先数の推移	8,995		75		9,218		85	
	6,172	2,823	44	31	6,290	2,928	36	49

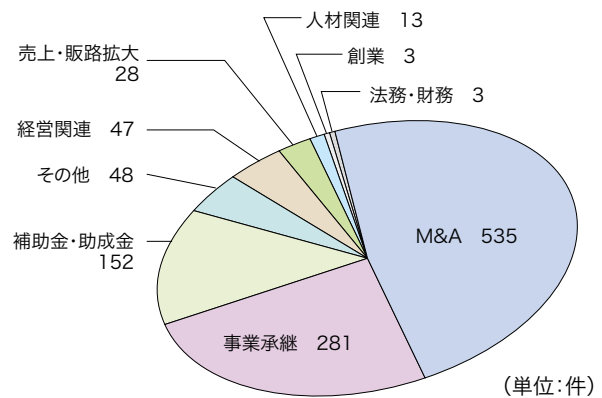
■ 令和3年度 支援課題別集計

中小企業からの経営相談は営業店と本部が連携して行います。また、高度専門的な課題の場合は、福岡県よろず支援拠点・北九州市中小企業支援センター等との連携により課題解決のお手伝いを致しました。

支援課題	先数	
	件数	構成比
M & A	535	48.2%
事業承継	281	25.3%
補助金・助成金	152	13.7%
その他	48	4.3%
経営関連	47	4.2%
売上・販路拡大	28	2.5%
人材関連	13	1.2%
創業	3	0.3%
法務・税務	3	0.3%
合計	1,110	100.0%

※M&Aには譲受・譲渡の両方相談を含む。

● 令和3年度経営相談 支援課題別 先数



創業・新規事業開拓の支援

● 当金庫が関与した創業件数 **ベンチマーク**

	令和3年3月期	令和4年3月期
創業関与件数	75件	86件

● 創業支援先数 **ベンチマーク**

	令和3年3月期	令和4年3月期
①創業計画の策定支援	10先	3先
②創業期の取引先への融資(保証協会)	65先	83先

■ ひびしん女性創業塾

当金庫では、地元の創業・起業を目指すやる気のある女性を応援するため、「ひびしん女性創業塾」（以下「本創業塾」という。）を継続的に開催しています。本創業塾の特徴は、単なる学びの場で終わらないように、受講後のフォローにも注力し、修了生と一緒に創業に向けて事業プランを考え、事業に必要な資金のお手伝いをするなど



金融機関だからこそ可能な創業支援を実現させ、受講生の想いを創業という形に変えられるように努めています。

第13回目となる「ひびしん女性創業塾」（令和4年1月から2月の土曜日4日間コース）では、18名の方に受講いただき、最終的に1名の方が創業されました。尚、全13回の累計受講者は382名、創業者75名となっています。

● 女性創業塾受講生の創業状況 (令和4年4月30日現在)

(単位：名)

	1期	2期	3期	4期	5期	6期	7期	8期	9期	10期	11期	12期	13期	1~13期計
受講者(a)	42	35	39	28	30	36	32	25	30	28	21	18	18	382
受講時点で既に創業済み(b)	6	2	6	2	3	7	5	4	6	4	2	6	5	58
受講後創業(c)	10	8	9	5	5	7	6	2	8	2	9	3	1	75
創業率(c/(a-b)×100)	27.8%	24.2%	27.3%	19.2%	18.5%	24.1%	22.2%	9.5%	33.3%	8.3%	47.4%	25.0%	7.7%	23.1%

成長・成熟段階における支援

● 販路開拓支援を行った先数 **ベンチマーク**

		令和3年3月期	令和4年3月期
販路開拓支援を行った先数	地 元	21件	28件
	地 元 外	3件	8件
	海 外	2件	2件

■ 「知的財産マッチングイベントwith広域連携交流」を開催

With コロナ・After コロナを見据えた中小企業支援の一環として、開放特許を活用した新事業展開にかかる情報提供、大企業・他地域の中小企業とのマッチング等の機会を提供するマッチングイベントを開催しました。

Zoom によるオンライン方式で開催することにより、川崎信用金庫、大牟田柳川信用金庫との広域連携交流が実現しました。大企業との知的財産でのマッチングに加え、首都圏と九州の中小企業のビジネスマッチングなど、当金庫お取引先の販路開拓等が期待されています。

“新たな事業展開のきっかけを探そう！”

知的財産マッチングイベント with 広域連携交流


川崎信用金庫×大牟田柳川信用金庫×福岡ひびき信用金庫

話題性のある新商品を作りたい！ 事業を好転させるためのネットワークを作りたい！
本イベントでは、新たな事業展開のきっかけ作りとして、アイデアの宝庫である大企業の開放特許、各地域の支援機関や企業、取組の事例をご紹介します。

【日時】 2022年2月9日(水) 14:00~17:30 参加無料


【開催方法】 オンライン (Zoom)
※各自インターネットにつながるPC等をご用意してご参加ください

【内容】

- 14:00 知的財産マッチング事業の概要説明
(公財)川崎市産業振興財団 知的財産コーディネータ 西谷 亨 様
- 14:30 川崎市の成約事例の紹介 脚スエヒロ×森永製菓様
- 15:00 大牟田市の成約事例の紹介 街古賀商会×富士通様
- 15:40 大企業の開放特許の紹介 (シーズプレゼン)
獅賀生堂、ハナソニック様、キユーピー様 
- 16:45 参加企業のショートプレゼン (希望企業9社程度)
※各地域の参加企業をご紹介し、双方向での情報交流やマッチングを促進します。
希望される方は4分程度で、事業内容、お持ちの技術やニーズを発表して下さい。

【主催】 川崎信用金庫、大牟田柳川信用金庫、福岡ひびき信用金庫
【共催】 川崎市、大牟田市、(公財)川崎市産業振興財団、(公財)横浜企業経営支援財団
(公財)北九州産業学術推進機構、(公財)大牟田市地域活性化センター

知的財産マッチングの概要や事例の紹介、大企業の特許技術については、川崎信用金庫のHPにある動画などをご参照ください。
<<https://www.kawashin.co.jp/houjin/support/ip.html>>



後日、参加した大企業や中小企業、支援機関とマッチングを希望する方は主催者までご連絡ください。マッチングや契約、販路開拓まで事業化に向けた伴走型のサポートを行います!!

■ 第6回しんきん合同商談会

令和3年11月17日(水) マリンメッセ福岡において、九州北部3県(福岡県、佐賀県、長崎県)の13信用金庫の力を結集した「第6回しんきん合同商談会～中小企業による商売繁盛の祭典～」を開催いたしました。

出展企業・団体333社・団体、バイヤー企業25社の合計358社・団体が出展、当日は4,697名にご来場頂きました。商談総件数は2,092件(うち成約件数511件)となりました。



● 第6回しんきん合同商談会結果(令和3年11月24日現在)

	商談件数	商談成約件数・成約率・継続件数			
			成約件数(見込含)	成約率(%)	継続件数
個別商談	1,909件	1,396件	451件	23.6%	945件
バイヤー商談	183件	158件	60件	32.8%	98件
合計	2,092件	1,554件	511件	24.4%	1,043件

※「商談実績報告書」をもとに個別別に集計した合計値

事業承継・経営改善・事業再生・業種転換等の支援

事業承継・経営改善・事業再生・業種転換等の支援業務には中小企業基盤整備機構、福岡県信用保証協会、北九州産業学術推進機構等の外部支援機関との連携強化に努め、実効性の高い支援の実現を目指して取り組んでいます。

● 事業承継等の支援への取組み **ベンチマーク**

	令和3年3月期	令和4年3月期
M & A 支援先数 (相談・情報件数含む)	489先	535先
事業承継支援先数 (相談・情報件数含む)	220先	281先

● 外部と連携した本業支援 **ベンチマーク**

	令和3年3月期	令和4年3月期
外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数	29先	102先
取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の活用を支援した先数	13先	9先

● 金融機関が貸付条件の変更を行っている中小企業の経営改善計画の進捗状況 **ベンチマーク**

中小企業の条件変更先に係る経営改善計画の進捗状況	条件変更総数	令和3年3月期			令和4年3月期	
		好調先	順調先	不調先		
		440先	13先	35先	478先	30先
				392先		49先
						399先

③ 多様な顧客ニーズに応えるための取組み

当金庫では中期経営計画に掲げた人材育成強化のため職員向けに様々な研修を実施しています。地域社会に愛され、地域に貢献出来る人材となるべく、日々研鑽に励んでいます。新入職員については配属前に、2カ月間の徹底した研修を受講します。

● 取引先の本業支援に関連する研修等の実施数、研修等への参加者数、資格取得者数 **ベンチマーク**

		令和3年3月期	令和4年3月期
取引先の本業支援 に関連する研修等の 実施数、研修等への 参加者数、資格取得 者数	研修実施回数	11回	15回
	参加者数	64名	176名
	資格取得者数	3名	3名

● 新入職員の金融スキル向上研修



● 職員のソリューション営業能力強化

当金庫は、課題解決型営業を実践していくために、総合的なコミュニケーションスキルの向上に向けた研修を行っています。



「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客様からのお借入や保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客様との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分検討するなど、適切な対応に努めています。

	令和2年3月期	令和3年3月期	令和4年3月期
新規に無保証で融資した件数	1,321件	2,413件	1,516件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	10.55%	18.95%	16.60%
保証契約を解除した件数	108件	71件	87件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限定)	0件	0件	0件